

「農事組合法人大進農場」への協調融資について ～畜産クラスター事業活用による規模拡大を秋田銀行と日本政策金融公庫が協調支援～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」という。）秋田支店農林水産事業とともに、男鹿市の「農事組合法人大進農場」（代表理事 進藤 俊人）に対し、協調融資により経営規模の拡大を支援いたしましたので、お知らせいたします。

当行と日本公庫は、業務連携・協力に関する覚書を締結しており、今後も相互に連携して地域経済の活性化に努めるとともに、秋田の農業をリードする農業生産者の皆さまへの総合的な支援を推進してまいります。

記

1 農事組合法人大進農場について

本先は、男鹿市角間崎で黒毛和牛を飼養する肥育農家であり、代表の進藤俊人氏は2018年の「秋田牛枝肉共励会」において優秀賞を受賞するなど、高い肥育技術を有しております。

2 畜産クラスター事業について

- (1) 畜産クラスターとは、畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が集結・連携し、地域ぐるみで畜産の収益力を向上させるための取組みのことです。国は補助金交付等により畜産クラスターの構築を推進しています。
- (2) 本先は、畜産クラスター関連の補助金を活用し、肥育牛舎や堆肥舎の新設、機械設備の導入等により、飼養頭数を現在の90頭から400頭へ増頭のうえ生産規模を拡大します。
- (3) 当行は農業近代化資金により、日本公庫は当行を窓口とした農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）により、計330百万円の支援を行いました。
- (4) 本先のような地域営農の中核となる担い手の規模拡大は、秋田県の農業産出額向上に寄与するものと期待され、社会的意義が大きい事業です。今後継続される生産規模の拡大についても、当行と日本公庫が引き続き連携して支援を行ってまいります。

3 融資額

秋田銀行 36百万円
日本公庫 294百万円

(以 上)

【参 考】

1 農事組合法人大進農場について

代表理事 進藤 俊人
住 所 秋田県男鹿市角間崎字樽沢 1 0 - 3
資 本 金 1 百万円
事業内容 和牛肥育経営

2 投資計画概要

施設内容 肥育牛舎 2 棟、堆肥舎 2 棟、飼料庫兼管理棟 1 棟、マニユアスプレッダ等機械設備
所 在 秋田県男鹿市角間崎字十文字 1 7 - 6
総事業費 5 5 4 百万円